給水フィルター付水抜栓の掃除

●試運転後は必ず給水フィルター付水抜き栓を掃除してください。(フィルターにゴミが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。)

❶ 止水栓を閉めて給水を止める

●「ノズルそうじ 入/切」スイッチを押してノズルを伸出させた後、もう一度「ノズルそうじ 入/切」スイッチを押してノズルを戻す
（給水管内の圧抜きです。）

❷ カバーをはずす (ウォシュレットPS・PSAのみ)

❸ 給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってはずす

⚠注 意

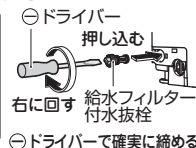
●止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない（水が噴き出します。）

❹ フィルターを水洗いする

●小さなゴミは歯ブラシなどで確実に取り除いてください。
●ウォシュレット本体の給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。

❺ 給水フィルター付水抜栓を押し込み、確実に締める

⚠注 意

●給水フィルター付水抜栓は確実に締める（確実に締めないと水漏れの原因になります。）

❻ 止水栓を開ける

❼ 給水フィルター付水抜栓部から水漏れがないことを確認する

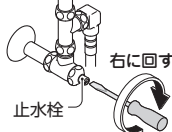
❽ カバーを取り付ける (ウォシュレットPS・PSAのみ)

外気温が0℃以下になるときの処置

●お客様に引き渡されるまでに外気温が0℃以下になるときは、漏水事故防止のため、次の要領で水抜きしてください。
（電源プラグは差し込んだままにしてください。）

❶ 止水栓を閉めて給水を止める

●ロータンクの水を流してください。

POINT!
ロータンクの水が流れ出てしまうまでレバーを回したままにしてください。

❷ 配管の水を抜く

●「ノズルそうじ 入/切」スイッチを押してノズルを伸出させた後、もう一度「ノズルそうじ 入/切」スイッチを押してノズルを戻す
（製品内部の残水を抜きます。）
●給水フィルター付水抜栓をはずす
詳しくは、給水フィルター付水抜栓の掃除 ❷❸の項をご覧ください。
●給水ホースを分岐金具から取りはずし、先端を容器で受ける

❸ ウォシュレット本体を取りはずす

詳しくは 取付方法 3ウォシュレット本体の取り付けかた ウォシュレット本体の取りはずしかた の項をご覧ください。

❹ 水抜きプラグを取りはずして、ウォシュレット本体内の水を抜く

●ノズルの横側から水が出ますので、便器内に排水してください。完全に抜けるまで、約2分かかります。

❺ 給水ホースを分岐金具に締め付ける

詳しくは 取付方法 4給水ホースの接続❶の項をご覧ください。

❻ 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

詳しくは 給水フィルター付水抜栓の掃除 ❺の項をご覧ください。

❼ 水抜きプラグを取り付ける

❽ カバーを取り付ける(ウォシュレットPS・PSAのみ)

詳しくは 給水フィルター付水抜栓の掃除 ❽の項をご覧ください。

❾ ウォシュレット本体を取り付ける

詳しくは 取付方法 3ウォシュレット本体の取り付けかたの項をご覧ください。

このQRコードはメーカー管理用です。

2013.4.9
D08616R

TOTO

施工説明書

ウォシュレット®
Pシリーズ

WASHLET®

工事店様へ

従来製品からの主な変更点

●コンセントの位置が左側にある場合の電源コードの取りまわしを良くするために、ベースプレートにフックを追加しました。
※コンセントの位置が右側にある場合は、ベースプレートのフックは使用しません。

●すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットが作動しません。

●ウォシュレットPSAの場合…必ず便器洗浄ユニットを取り付けてからウォシュレットをセットしてください。
※施工のしやすさ、キズ防止のため

●分岐金具は必ず同梱のものに取り替えてください。
※既設の分岐金具は使用できません。

●給水管、給水ホースの接続口を間違えないように取り付けてください。
※水漏れの原因になります。

●ウォシュレットを左右または対面方向に2台以上ならべて設置するときは、隣のリモコン信号を受け付けて作動することを防ぐため、リモコンの連立対応を行ってください。
詳しくは、連立対応について(URL)
http://search.toto.jp/contents/navi/「施工方法」の欄「ウォシュレットリモコン連立対応方法」をご覧ください。

●取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様へお渡しください。

●ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様へ説明してください。
新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。
（ただし、外気温が0℃以下になるときは、電源プラグを抜かないでください。）

はじめに

施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

安全に関するご注意 **安全上の警告・注意事項を必ず守ってください!**

 警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

 注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

【絵表示の例】 してはいけない「禁止」の内容です。 必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警　告	
水場使用禁止	浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)
禁止	指定する電源(交流100V)以外では使用しない (火災や感電の原因になります。)
	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない (火災や感電の原因になります。)
	水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない (皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
	車輌・船舶など、移動体への設置はしない (火災や感電、故障などの原因になります。) (便座・便ふたなどがはずれて落下し、けがをする原因になります。)
必ず守る	電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)
アース接続	アース(D種接地工事100Ω以下)を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

⚠注　意	
禁止	止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない (水が噴き出します。)
	便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)
必ず守る	給水フィルターを取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)
	施工は施工説明書に従って確実に行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
	ウォシュレット本体は、ベースプレートに確実に押し込む (「カチッ」と音がするまで押し込んだあと、軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)

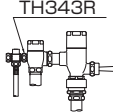
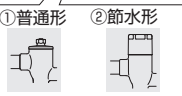
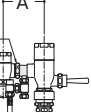
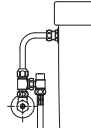
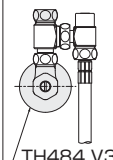
取り付け前のご注意

1.製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2.便器に取り付ける前に、ウォシュレット本体にベースプレートをセットして通電しないでください。温水タンクが空の状態でヒータが入るため、故障の原因となります。
3.電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は318Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。
4.電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
5.給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)～0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。
6.給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7.同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。
※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

下記の場合はTOTOメンテナンス㈱TOTOパーツセンター
TEL 0120-8282-55 FAX 0120-8272-99へご連絡ください。

給水ホースの長さが不足の場合

給水ホースの長さは約950mmです。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、4給水ホースの接続の❷項に長い給水ホースを記載していますので、適切な長さのホースを選んでください。

右給水の隅付タンクへ接続する場合

隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、給水ホースの長さが足りませんので、別売品の中継アダプタ(品番:TCA58)が必要となります。

止水栓の先端で給水が分岐しているタイプから取り替える場合

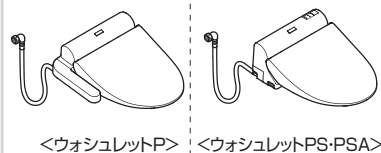
別売品の分岐金具(品番:TCA158)が必要になります。

フラッシュバルブへ接続する場合

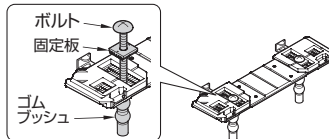
①分岐口のあるFVに接続する場合→別売品の専用アダプタ(品番:TH343R)が必要になります。
②分岐口がないFVへ接続する場合→別売品の専用アダプタ(品番:TH484《FVの給排水芯120mm用》または品番:TH484-1《低圧FV用》)が必要になります。
③分岐口があるFV止水栓へ交換する場合→別売品の専用アダプタ(品番:TH347-1S《節水型》または品番:TH502-1S《普通型》)が必要になります。

	「フラッシュバルブ」へ接続する場合					「ロータンク」へ接続する場合	「専用止水栓」を設ける場合
	分岐口がある場合	分岐口がない場合					
施工方法(イメージ)	TH343R	●止水栓部を組み替えて分岐 TH347-1S ①普通形 ②節水形		●「止水栓～フラッシュバルブ本体」より分岐 A TH484			TH484 V3
		①普通形	②節水形	①普通形・節水形	②低圧形		
必要分岐金具(別売品)	**TH343R** 希望小売価格 ¥1,650 (税込 ¥1,733)	**TH502-1S** 希望小売価格 ¥6,750 (税込 ¥7,088)	**TH347-1S** 希望小売価格 ¥7,650 (税込 ¥8,033)	**TH484** 希望小売価格 ¥3,000 (税込 ¥3,150)	**TH484-1** 希望小売価格 ¥5,650 (税込 ¥5,933)	同梱の分岐金具のみで施工可能のため不要です。	**TH484 V3**㊊ 希望小売価格 ¥2,900 (税込 ¥3,045)

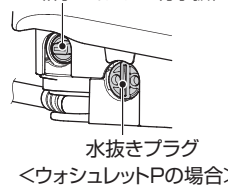
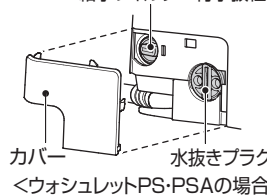
※仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

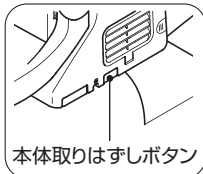
同梱部品

ウォシュレット本体

ベースプレート一式

※分解せずにこのままで便器に取り付けてください。

分岐金具

リモコン部品<ウォシュレットPS·PSAのみ>

印刷物組品

印刷物組品、
施工説明書(本書)

各部のなまえ

(図はウォシュレットPS·PSA)

取付方法

1 分岐金具の接続

記載の接続方法は代表例です。現地の配管に合わせて接続してください。
※分岐金具は必ず同梱のものを使用してください。

一般のロータンクへ接続する場合

❶ 止水栓を閉め、給水管を取りはずす

①止水栓をいっぱいに閉める
②上下の袋ナットをゆるめる
③給水管を取りはずす
給水管
既設の分岐金具がある場合は取りはずす
※さびている古い給水管は、お取り替えをおすすめします。

❷ 分岐金具を止水栓に取り付ける

※既設の分岐金具を取りはずし、必ず同梱の新しい分岐金具を取り付けてください。
分岐金具
分岐金具の袋ナットを止水栓に締め付ける
パッキン
(既設の止水栓のものをはずして付け替える)
止水栓

❸ 給水管の止水栓側を切断する

給水管
パイプカッター
分岐金具
10〜15mm
不要部分
※差込部分10〜15mmを必ず確保する

- 給水管の切断はパイプカッターを使用してください。
- 切断後は切粉を取り除いてください。

接続部にテーパリングを使用している場合
給水管
袋ナット
テーパリング
パッキンガイド
パッキン
差込代約10〜15mm
分岐金具
止水栓

接続部にテーパリングを使用していない場合
給水管
袋ナット
スリップワッシャ
ゴムパッキン
差込代約10〜15mm
分岐金具
止水栓

- 部品の順番、向きを間違えないでください。

❹ 給水管を取り付ける

パッキン
(既設のものをはずして付け替える)
①ロータンク(ボールタップ)側の袋ナットを締め付ける
②分岐金具側の袋ナットを締め付ける
(図はフィルター・消音ブッシュ付の場合)
給水管接続口
ウォシュレット用給水ホース接続口

注意

- ボールタップ本体が回らないようにしっかり持って袋ナットを締めてください。
- ボールタップが傾いて取り付けられると止水不良の原因となります。

ボールタップ本体
袋ナット
ロータンク

ワンピース便器へ接続する場合

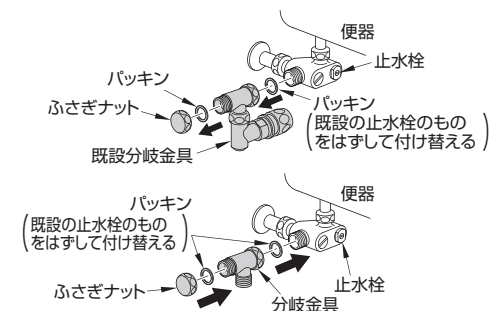
❶ 止水栓を閉める

❷ ふさぎナットとゴムパッキンを取りはずす

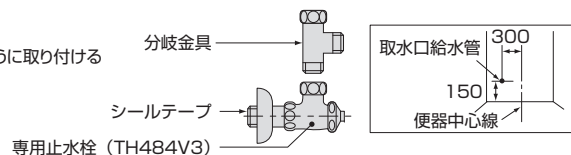
- 既設の分岐金具がある場合は、取りはずしてください。

便器
止水栓
パッキン
ふさぎナット
パッキン
(既設の止水栓のものをはずして付け替える)
既設分岐金具

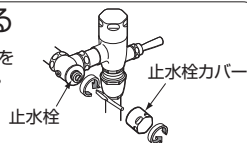
❸ 分岐金具を止水栓に取り付け、ふさぎナットとゴムパッキンを取り付ける

便器
パッキン
(既設の止水栓のものをはずして付け替える)
ふさぎナット
分岐金具
止水栓

専用止水栓から給水する場合

取水口に専用止水栓（TH484V3）を図のように取り付ける

取水口給水管 300 150 便器中心線

分岐口のあるフラッシュバルブへ接続する場合

❶ 止水栓を閉める

※節水タイプは止水栓カバーをはずすと止水栓があります。

❷ 分岐口のふさぎふたをはずす

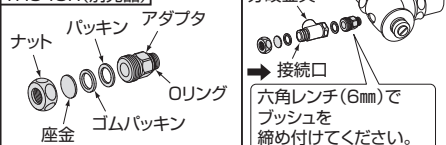
六角レンチ（6㎜）で、ふさぎふたをはずしてください。

ふさぎふた
六角レンチ
分岐口

❸ 分岐金具を取り付ける

①分岐口にアダプタ（TH343R）のブッシュを取り付ける
②ブッシュに分岐金具を取り付ける
③分岐金具の接続口をゴムパッキン、座金、ナットでふさぐ

TH343R（別売品）

六角レンチ（6㎜）でブッシュを締め付けてください。

●ブッシュ取り付けの際は、必ず強く確実に締め付けてください。
分岐金具の取り付けのときに、ゆるむおそれがあります。

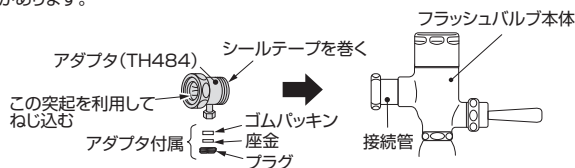
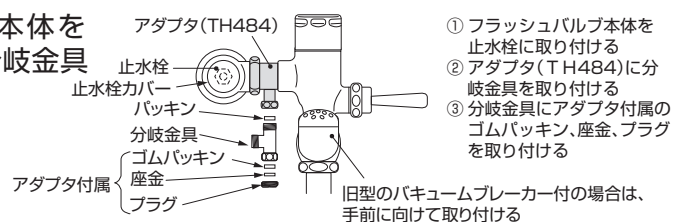
分岐口がないフラッシュバルブへ接続する場合

給排水芯々 120 ㎜の場合の施工方法を代表記載しています。

❶ 止水栓を閉める

☞ 分岐口のあるフラッシュバルブへ接続する場合 ❶ 項参照

※節水タイプは止水栓カバーをはずすと止水栓があります。

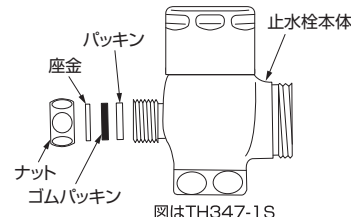
❷ フラッシュバルブ本体から接続管を取りはずし、アダプタ（TH484）を取り付ける

❸ フラッシュバルブ本体を止水栓に接続し、分岐金具を取り付ける

① フラッシュバルブ本体を止水栓に取り付ける
② アダプタ（TH484）に分岐金具を取り付ける
③ 分岐金具にアダプタ付属のゴムパッキン、座金、プラグを取り付ける

分岐口があるフラッシュバルブ止水栓へ交換する場合

止水栓ごと交換することで、施工が非常に簡単にできます。

別途ＴＨ347-1Ｓ（節水型ＴＶ750 の場合）またはＴＨ502-1Ｓ（普通型Ｔ150Ｎの場合）が必要となります。
お求めは TOTO メンテナンス㈱ TOTO パーツセンター
TEL 0120－8282－55　FAX 0120－8272－99
へご連絡ください。

●止水栓交換後は、分岐口のあるフラッシュバルブへ接続する場合の項にそって、同梱の分岐金具を取り付けてください。

パッキン
座金
止水栓本体
ナット
ゴムパッキン

図はTH347-1S

2 ベースプレートの取り付けかた

注 意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも、必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートでは、ウォシュレットが取り付けできません。

❶ 便器のサイズを調べ、ベースプレートのボルトの取付位置を調整する

便器のサイズ		ボルトの標準取付位置
便座取付穴の中心	約44cm	ボルト / 固定板 / **一番前側**に合わせる
	約47cm	固定板 / ボルト / **前側より7凹後ろ**の位置に合わせる

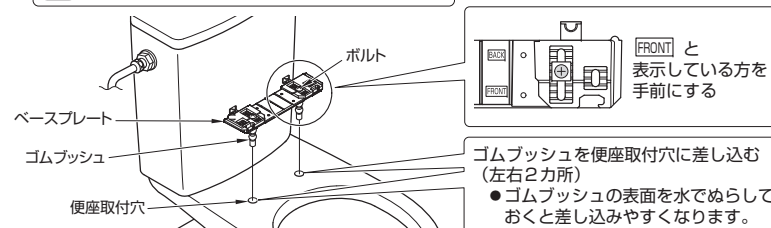
※ボルトをゆるめ、固定板をつまんでから位置をずらしてください。

POINT!
固定板の凸とベースプレートの凹が、かみあっていることを確認してください。

❷ ベースプレートをセットする

注意 ベースプレート部品を分解しないでください。

FRONT と表示している方を手前にする

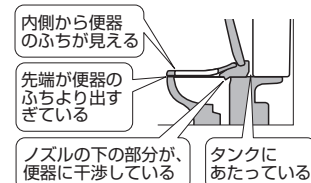
ゴムブッシュを便座取付穴に差し込む（左右２カ所）
●ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくと差し込みやすくなります。

❸ ベースプレートを仮固定する

ベースプレートが動かなくなるまでボルトを締めてください。

❹ ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む

> 取付方法 3 ウォシュレット本体の取り付けかた

❺ ウォシュレット本体を取り付け、以下の確認を行い、再度はずす

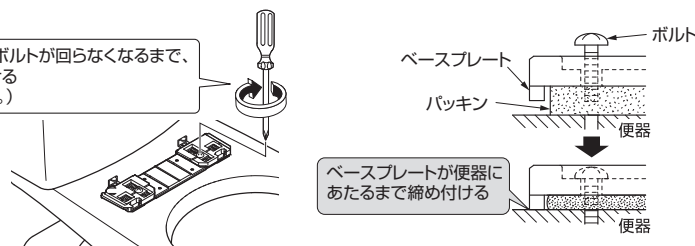
※次の場合は、もう一度ベースプレートのボルト取付位置を調整してください。

確認後、ウォシュレット本体を取りはずす

> 取付方法 3 ウォシュレット本体の取り付けかた　ウォシュレット本体の取りはずしかた

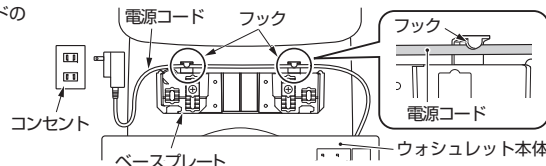
取り付けかた

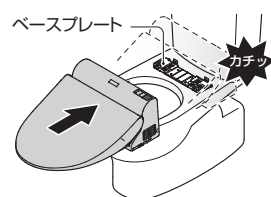
❻ ベースプレートを固定する

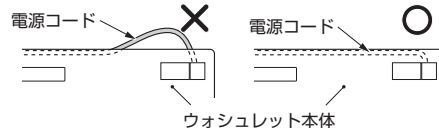
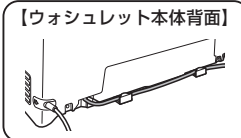
⊕ドライバーでボルトが回らなくなるまで、しっかり締め付ける（かなり回します。）

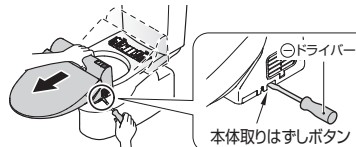
ボルト
ベースプレート
パッキン
便器
ベースプレートが便器にあたるまで締め付ける
便器

3 ウォシュレット本体の取り付けかた

❶ ベースプレートのフック（2ヶ所）に電源コードをかける（コンセントの位置が左側にある場合のみ）

※コンセントの位置が左側にある場合の電源コードの取りまわしを良くするためです。
コンセントの位置が右側にある場合は、ベースプレートのフック（2ヶ所）は使用しません。

❷ ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む

- ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、ウォシュレット本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。
- 取り付け後は、ウォシュレット本体を軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。
電源コードをフックにかけた場合は、電源コードのたるみをなくし整えてください。

注意 正しく取り付かなかった場合は、ウォシュレット本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。

※便座クッションと便器の間にすき間がありますが、着座スイッチの構造によるものです。
※ウォシュレット本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガタつきが発生します。
（これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のすき間によるものです。）

ウォシュレット本体の取りはずしかた

- ウォシュレット本体右側の本体取りはずしボタンを⊖ドライバーなどで奥まで押したまま、ウォシュレット本体を手前に引いてください。

4 給水ホースの接続

❶ 分岐金具に給水ホースの袋ナットを締め付ける

❷ 給水ホースを取り付けた状態で、ウォシュレット本体が着脱できる長さがあるか確認する

※給水ホースの長さが足りないときは、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。
（同梱品の給水ホースの長さは約950mmです。）

お求めはTOTOメンテナンス㈱TOTOパーツセンター TEL 0120−8282−55
FAX 0120−8272−99 へご連絡ください。

給水ホース長さ違い一覧表

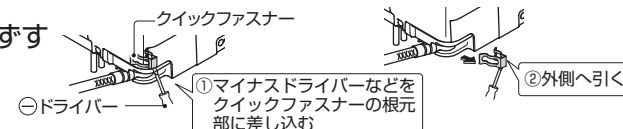
給水ホース長さ（mm）	品　番	希望小売価格
1180	TCA162	¥2,700（税込¥2,835）
1480	TCA163	¥3,000（税込¥3,150）
1980	TCA164	¥3,500（税込¥3,675）

●仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

長さ違いの給水ホースを取り付ける

給水ホースの取りはずし

❶ ウォシュレット本体を取りはずす

❷ カバーを取りはずす
- ウォシュレット本体底面のフックをはずし、外側へ引いてください。

❸ クイックファスナーをはずす

❹ 給水ホースを着脱位置に合わせて引き抜く

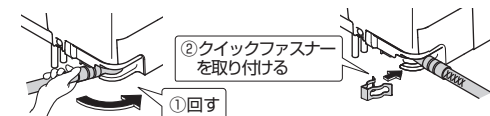
給水ホースの取り付け

❶ 給水ホースを着脱位置に合わせて差し込む

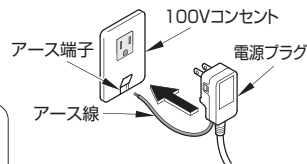
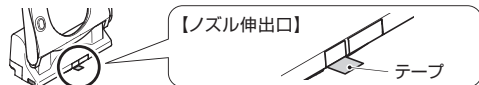
❷ 給水ホースを矢印の方向に回したあと、クイックファスナーを取り付ける
クイックファスナーが正しくとりついているか確認する

❸ カバーを取り付ける

❹ ウォシュレット本体を取り付ける

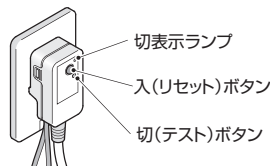
取り付けかた

5 電源プラグ（アース線）の接続と確認

❶ アース線をコンセントのアース端子に接続する

※アース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。
※コンセントに差し込む際、電源プラグにアース線をはさみ込まないよう注意してください。ショートの原因になります。

お願い ノズル伸出口に貼ってあるテープをはがしてください。

❷ 電源プラグを100V（50/60Hz）のコンセントに差し込む

CHECK!
ノズルが一旦出て戻る初期動作を行うか確認してください。

❸ 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して正常に作動することを確認する

CHECK!
「切（テスト）」ボタンを押す ➡「切表示」ランプが点灯する
「入（リセット）」ボタンを押す ➡「切表示」ランプが消灯する
以上のように作動すれば正常です。
「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。
テスト後は必ず「入（リセット）」ボタンを押してください。

❹ 運転ランプが点灯していることを確認する

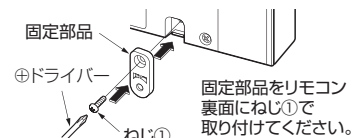
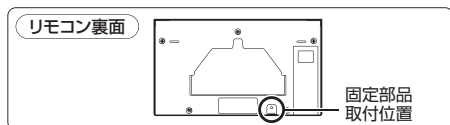
CHECK!
運転ランプが点滅している場合
- ウォシュレット本体がきちんと取り付いていません。
  →ウォシュレット本体を一度はずしてから、もう一度ベースプレートにセットし直してください。
  > 取り付けかた 3 ウォシュレット本体の取り付けかた
- ベースプレートがきちんと取り付いているか確認してください。
  →固定板の向きはあっていますか？
  > 取り付けかた 2 ベースプレートの取り付けかた❶

6 リモコンの取り付け（ウォシュレットPS・PSAのみ）

❶ 電池カバーを開け、リモコンに乾電池を入れる

※⊕⊖を間違えないでください。
※同梱の乾電池を使用してください。

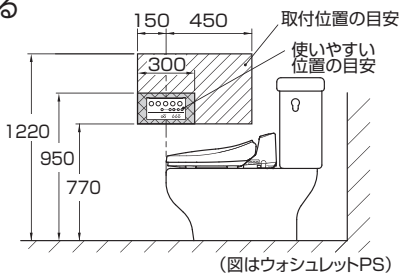
❷ リモコンに固定部品を取り付ける

固定部品をリモコン裏面にねじ①で取り付けてください。

❸ 次の確認を行なってリモコンの取付位置を決める

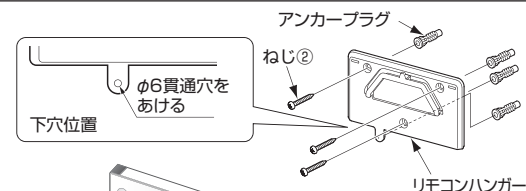
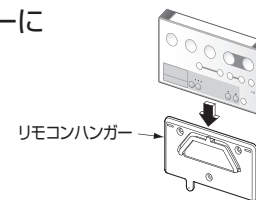
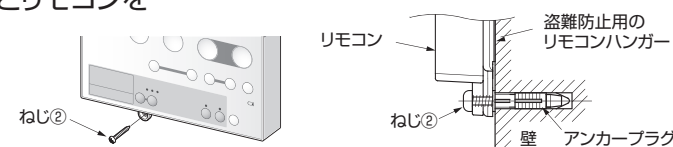
〈操作性の確認〉
- 便座に座った状態で操作を行ない、取付位置を決めてください。

〈作動の確認〉
- 「ノズルそうじ入／切」スイッチを押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、右図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。
- ウォシュレット PSA の場合は、便器洗浄リモコンに同梱している取付説明書にて、便器洗浄リモコンの取付位置を確認してください。

▨のところが取付位置の目安です。

▩のところが使いやすい位置の目安です。

（図はウォシュレットPS）

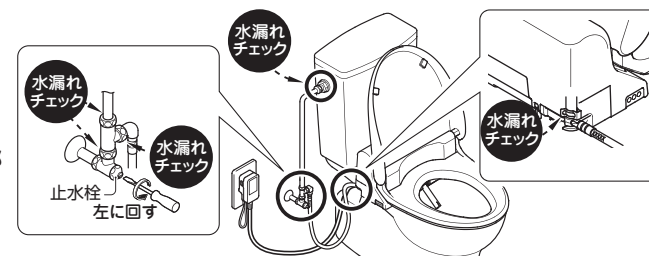
❹ リモコンハンガーを取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあける
- 石膏ボード、タイル壁は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、アンカープラグで固定する

❺ リモコンをリモコンハンガーにセットする

❻ リモコンハンガーとリモコンをねじ②で固定する

試運転

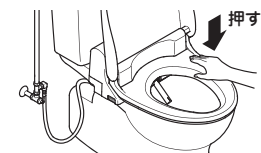
- 試運転が完了したら「運転　入/切」スイッチが、「入」になっていることを確認してください。
  （「入」のときは、「運転」ランプが点灯します。）
  「運転　入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。
  ※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転　入/切」スイッチを切らないでください。

1 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか再確認する
- 止水栓を開いて、配管接続部から水漏れがないことを確認する
- ウォシュレット本体の給水接続部から水漏れがないか確認する

※万一、水漏れがあれば再施工を行い水漏れを止めてください。

2 機能の確認

❶ 便座の右側を手で押し、着座スイッチを入れる

POINT!
手で押したまま❷の確認を行ってください。

❷ 洗浄機能を確認する

CHECK!
- （おしり）（ビデ）スイッチを押すとノズルから適温の温水が出ますか？
  （温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。）
- 水勢調節スイッチ（水勢 − ＋）を押すと水勢が変化しますか？
- （止）スイッチを押すと止まりますか?

POINT!
吐水は紙コップなどで受けてください。